

日本語の上達を支援する教育実践の創造

— ITを有効に活用したチームでの 教育実践の可能性 —

講演1: 日本語教育・日本語学習支援におけるIT活用の可能性と課題
—より充実した連携と学習効果の向上のために— 李在鎬

早稲田大学大学院 日本語教育研究科 教授

**講演2: 日本語学習者の自学自習と教師のサポートを組み合わせた
オンラインコースの制作と運用**
—学びを支援するコースデザインと教師の役割—

熊野 七絵

国際交流基金 関西国際センター 日本語教育専門員主任

全体討論



← 参加申込みは
こちらから
(2/9〆切)

大阪大学国際教育交流センター

CIEE Center for
International
Education and
Exchange

<https://ciee.osaka-u.ac.jp/>

日時: 2022年2月15日(火)

午後1時30分から午後5時
(受付13時~)

オンラインで開催

第14回大阪大学専門日本語教育研究協議会

「日本語の上達を支援する教育実践の創造

ー ITを有効に活用したチームでの教育実践の可能性」

主催 大阪大学国際教育交流センター

背景および趣旨

日本語学校か大学かを問わず日本語教育では、そして特に入門・基礎や中級までの学習段階では、一つのコースやクラスを複数の教員が担当することがおおむね一般的です。そうしたチームでの教育実践は、日本語教育ではチームティーチングと呼ばれています。チーム〇〇（チームティーチング、チーム医療など）と言う場合の重要要素は、(a)メンバー各々が専門性や「得意部分」を発揮しながら、(b)共有の目標を協働的に達成する、ことです。日本語や言語教育一般でのチームティーチングでは、(b)の「共有の目標」と「協働的に達成」という部分がまず強調されなければならないでしょう。

一方で、コロナ禍をきっかけに、日本語教育では「デジタルディバイド」が一層進んだように思います。ここに言うデジタルディバイドとは、視覚資料を作成してZoomなどを「窓」として基本は従来と類似した方法で授業を展開する教師がいる一方で、この機会に多種多様なIT技術を駆使してダイナミックに授業を展開する「ITエキスパート・プレーヤー」が増えたことです。そして、後者は実際にはチームの一員として教育実践をするというよりも「ソロプレーヤー」として活躍しており、前者は従来のカリキュラム等の中で授業を実践している人です。この両者が大きく「分断」されていることから、それぞれがそれぞれの道を行くというような状況ができつつあるように見受けられます。

コロナ後のITが普及した現在及び将来の日本語教育の一つの大きな研究課題は、(1)チームで教育を実践する場合に学習と教育の運営でどのようにITを利用し、(2)具体的な教育の実践としてITを通じたオンデマンド学習や学習資材の提供と課題の提出及び対面授業の実施をどのように組み合わせ、(3)学習活動や教授活動でどのようなITの活用を推奨・促進すれば、学生における日本語の上達を有効に促進・支援することができるかを検討することです。

本研究協議会では、そのようなテーマをめぐって、同方面で実践経験・研究経験が豊富な講演者である、早稲田大学の李在鎬先生と国際交流基金関西国際センターの熊野七絵先生からお話をうかがい協議することを通して、今後の日本語教育の企画、教材の制作と提供、授業の実践のあり方などを広い視野で検討したいと思います。

第 14 回大阪大学専門日本語教育研究協議会

日本語の上達を支援する教育実践の創造 — IT を有効に活用したチームでの教育実践の可能性—

日時：2022年2月15日（火）13:30～17:00（予定）

オンラインで開催

主催：大阪大学国際教育交流センター

---- プログラム ----

		総合司会 国際教育交流センター准教授	大谷 晋也
13:30～13:35	開会の挨拶	国際教育交流センター センター長	有川 友子
13:35～13:50	趣旨説明と問題提起	国際教育交流センター准教授	難波 康治
13:50～14:50	講演1：日本語教育・日本語学習支援における IT 活用の可能性と課題 -より充実した連携と学習効果の向上のために-	早稲田大学大学院 日本語教育研究科 教授	李 在鎬
14:50～15:50	講演2：日本語学習者の自学自習と教師のサポートを組み合わせたオンライン コースの制作と運用 -学びを支援するコースデザインと教師の役割-	国際交流基金関西国際センター日本語教育専門員主任	熊野 七絵
15:50～16:10	休憩		
16:10～16:55	全体討論	全体討論司会 国際教育交流センター教授	西口 光一
		早稲田大学大学院 日本語教育研究科 教授 国際交流基金関西国際センター日本語教育専門員主任 国際教育交流センター教授	李 在鎬 熊野 七絵 義永美央子
16:55～17:00	閉会の挨拶	国際教育交流センター 副センター長	村岡 貴子